



保健について調べる

町田総合高校図書館 2018

「調べる」とは、資料をただ書き写すことではありません。自分で作った「問い(疑問)」に、自分で答えていくプロセスが「調べる」ということです。それには「自分のテーマ」を見つけ、テーマについて「知りたいこと(疑問)」を出していきます。

あなたの「？」を「！」にするための6つのステップ



1 課題を明確にする

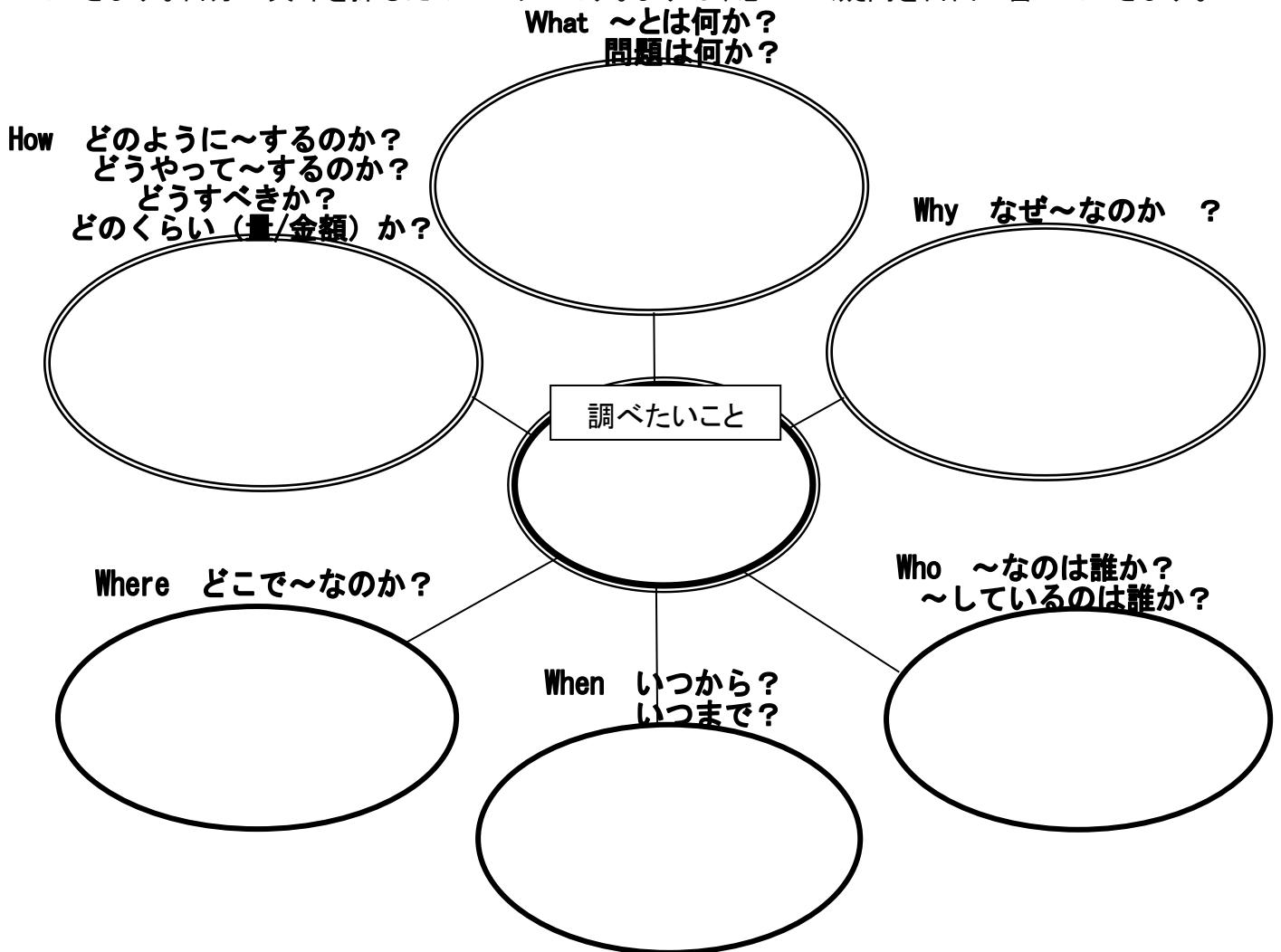
- ① まず課題をよく確認します。(内容・形式・締切・スケジュールなど)
- ② グループテーマから、自分の問いを作るために、課題についての大まかな知識を得ます。
・教科書をよく読む。百科事典や本、雑誌、ウェブサイト、新聞等を見る。
- ③ グループテーマから、問いを作ります。

よい「問い」とは・・・

- ☆ 自分が興味を持っている(自分のモチベーションを維持できますか?)
- ☆ 問いの形になっている(明らかにしたいことを疑問文で明確にすると論証しやすい)
- ☆ 大きすぎない、専門的すぎない(自分の手に負えますか?)

5W1Hマップ

真ん中の丸にグループテーマを書きます。次に、まわりの丸にテーマに関連のある「疑問」「？」を書きます。自分の興味を探るためのマップです。まずは、思いつく疑問を自由に書いていきます。



④ 自分のテーマ(問い)を決定する。

5W1H マップを参考に、具体的な問いを書いてみよう。

?

※ここで決めるテーマは「仮のテーマ」です。調べていくうちに、テーマが絞れたり、取り上げる見方を変えたりなくなったりしていくことはよくあることです。

⑥ テーマ(問い)に対する仮説(答え)を書いてみます。

仮説を考えることで、「どんなことを調べたらいいか」、「どんな資料が必要となるか」、「このテーマで調べたいことがわかりそうか」などを考えることができます。

上のテーマ(疑問)の答えを予想して、書いてみよう

2 資料の探し方

※ワゴンにある資料は全て貸出をしません。必要な人にはコピーをします。本にふせん(クラス、番号、コピーするページを記入)をはさみ、授業時間の最後に司書のところに持って来てください。

① キーワードについておおまかなことを調べよう …まずは定義を調べるところから

⇒ 教科書…まずはここから！

⇒ 百科事典…『ポプラディア』 R031-ソ など

⇒ 現代用語辞典(新しい言葉、できごとについて知る) (毎年出版されています)

…『現代用語の基礎知識』 R031-ケ など

⇒ データ… 『日本国勢図会』 350-ニ 日本の様々なデータ集。毎年出版されます。世界もある。

⇒ 白書… 『厚生労働白書』 498-コ

『環境白書』519-カ

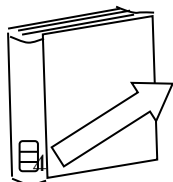
② 本の探し方 …内容から本を探す

図書館の本は、その内容ごとに並んでいます。探しやすくするためです。

そして、本の内容は数字を使って表されています。これを分類番号といいます。

分類番号の数字が本のラベルに書かれています。

図書館の本はラベルに書いてある番号順に並んでいます。同じ分類番号の中では著者記号順です。



493	分類番号	本の内容によってついています
コ	著者記号	書いた人の頭文字です
05	巻冊記号	シリーズものの場合の通し番号

『保健』に関連する主な分類番号

分類	内容	本の例
1 4 0	心理学	『心理学・ビジュアル百科』 140-シ
3 6 6	労働問題	『働くときのルールと権利』 366-ナ
3 6 7. 9	性教育	『ティーンズ・ボディーブック』 367.9-キ
3 6 8	社会病理	『よくわかる薬物依存』 368-ヨ
3 6 9	社会福祉	『年をとって、どういうこと?』 369-ワ

491	基礎医学	『体のしくみとはたらき図鑑』491-ヒ
492	臨床医学	『覚えておこう応急手当』492-カ
493	内科学	『生活習慣病のしおり』493-セ
494	外科学	『おしゃれ障害』494-オ
498	栄養学、衛生学	『食品添加物の本』498-ナ
499	薬学	『くすりの正しい使い方』499-カ
518	水道	『水道の本』518-コ
519	環境問題	『もっと知りたいPM2.5の科学』519-ハ
610	農業	『遺伝子組み換え企業の脅威』615-オ
780	スポーツ	『スポーツ障害』780-オ、『アスリートめし』780-カ

※図書館の検索用パソコンで『タイトル・著者・キーワード』からも本を探せます。

③ 新聞・雑誌

・新聞記事は毎日新しくなる情報です。

朝日新聞・毎日新聞・読売新聞・産経新聞・東京新聞・日本経済新聞

・雑誌やパンフレットも新しい情報源です。雑誌コーナーも利用しましょう。



「Newton」	「News がわかる」	「TARZAN」
----------	-------------	----------

④ 他の図書館の利用

資料が足りない場合には、公共図書館も利用しましょう。

各図書館のウェブサイトから本を検索することができます。行く前に本がありそうかどうか、調べてみる
ことができます。

調べる時の第一歩として、子どもの本がわかりやすく便利です。子どもの本のコーナーにも行ってみ
ましょう。

・町田市立図書館 町田総合高校の生徒は誰でも利用できます。生徒手帳を持って行こう。

忠生図書館・・・町田市忠生 3-14-2 町田総合高校から一番近い

中央図書館・・・町田市原町田 3-2-9(町田駅)

・八王子市立生涯学習センター図書館・・・八王子市東町 5-6 クリエイトホール内(八王子駅)

・相模原市立橋本図書館・・・町田市、八王子市在住の人は相模原市の図書館も使えます。

⑤ インターネット おすすめのサイトを掲載します。

・コトバンク <https://kotobank.jp/> ...出版されている辞書・事典をもとにした用語検索サービス

・MSD マニュアル家庭版 <https://www.msmanuals.com/ja-jp/ホーム> ...医学事典

・東京都感染症情報センター <http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>

・生活習慣病を知ろう! <http://www.smartlife.go.jp/disease/> ...厚生労働省のウェブサイト

・国立長寿医療研究センター <http://www.ncgg.go.jp/index.html>

・NPO 法人東京ダルク <https://tokyo-darc.org/> ...薬物依存について

・厚生労働省「薬害を学ぼう」 <http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakugai/>

・環境省 <http://www.env.go.jp/>

など

サイトの作成者、機関がはっきりしないものは、レポートには使えません。

必ず、「だれが」「何のために」作っているページかチェックしましょう。

× Wikipedia やQ&Aサイト(Yahoo!知恵袋等)、個人のブログ等

☆ 推奨: 作成者が公的機関、官公庁、大使館、大学、研究所など

☆ 推奨 : URL 末尾が go.jp(政府)、ac.jp(大学)、ed.jp(教育機関)など

ウェブサイトの評価するポイント

- か** 書いた人はだれか？ …信頼できる人・組織か？連絡先はあるか？(トップページなどを見る)
- ち** 違う情報と比べたか？
- も** もとネタは何か？…引用や参考文献など、情報源のない情報を紹介しているサイトは信頼性が低い)
- な** 何の目的で書かれたのか？…販売目的のサイトは売るのに都合がよいデータしか載せません。
- い** いつの情報か？…「更新日」を確認しましょう。情報が古いままの場合もあります。

⑥ レファレンス・サービスの利用 資料がうまく探せない！ そんな時には…

レファレンス・サービスというのは、資料・情報を調べるお手伝いをする図書館のサービスです。うまく探せないときは、司書まで！ 本の取り寄せなどできますので、相談してください。公共図書館でも同じようにサービスが受けられます。困ったらカウンターへ。



3 情報をまとめる

著作権に注意しましょう

レポートなどを書くときに、他の人の書いた文章を丸写しして、まるで自分が考えて書いた文章のようにして使うと著作権の侵害になります。

☆ 文章を丸写し、ではなく**必要な部分を抜き出して書く**(要約)

自分にとって大切だと思う部分を短くまとめて書きます。

☆ 文章をそのままのせる場合は、**自分の意見と区別する**(引用)

引用する部分を「 」(かぎっこ)をつけて区別します。

引用の後に出典(何を見たか)を書きます。

引用した文章が、自分の文章より長くならないようにします。

絵や写真、グラフなどを引用する際も、出典を必ず図の下に書きます。

☆ レポート作成に使った本、Webページなどは必ず参考文献としてレポート等を書く
どの本を参考にしたのかをはっきりさせるためです

参考文献の書き方

- ・本…著者名 『書名』 出版社, 出版年
- ・ウェブサイト…著者名, 「ページのタイトル」『トップページのタイトル』URL、(閲覧日: 日付)
- ・雑誌… 著者名 「記事タイトル」『雑誌名』 巻号、ページ

☆ 参考文献を書くときには、本の一番最後にある奥付(おくづけ)を見ると必要事項がすぐにわかります。

二つ以上の資料を見ましたか？

一つの情報源だけだと、内容が間違っている場合や古くなっている場合もあります。同じ内容について、必ず**複数の資料**を見ましょう。

書いたものを自分で理解できていますか？

難しい言葉などをそのまま写していませんか。**わからない言葉は教科書や事典などで調べましょう。**発表する時に、意味や読み方のわからない言葉があるとつまってしまいます。

問いと結論は対応していますか？

自分の問いにレポートを通して答えられているでしょうか。もう一度読み直してみましょう。